

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000104	教育集会所管理事業			
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会
基本理念	12	人権・平和の尊重		担当課	生涯学習課
基本方針	02	人権教育・人権啓発を推進する		新規継続区分	継続事業
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業
施策				自由区分3	棚卸し未実施
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律				
構成予算事業		会計		款	項
730235	教育集会所管理事業	01	一般会計	10	教育費
					05
					社会教育費
					01
					社会教育総務費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業			
		直接実施			
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: NPOヒューマンクロス、自治会)			
		補助金 (補助先:)			
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	教育集会所における啓発・教育活動を通して人権学習の推進を行い、差別を許さない人材の育成と文化環境の充実を図ることを目的とする				
対象 (誰・何を対象に)	市内15教育集会所				
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	職員並びに指定管理による教育集会所の管理 賃金 臨時職員4人分 需用費 消耗品費(646千円)、燃料費(342千円)、印刷製本費(45千円)、光熱水費(4,624千円)、修繕料(2,898千円) 役務費 通信運搬費(682千円)、手数料(318千円)、保険料(102千円) 委託料 指定管理料(6施設 8,425千円)、その他機械警備等管理委託料(2,123千円) 使用料及び賃借料 集会所土地借用料 備品購入費 施設備品の購入				
関連事業 (同一目的事業等)	教育集会所改修事業				

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	11,904	10,548	11,992	12,611
		需用費	千円	8,480	8,555	7,548	7,909
		賃金	千円	4,315	4,037	4,081	0
		役務費	千円	962	1,102	916	913
		補償、補填及び賠償金	千円	0	760	0	0
		備品購入費	千円	110	125	254	0
		使用料及び賃借料	千円	60	59	59	0
		報酬	千円	0	15	0	15
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	3,933
	小計	千円	25,831	25,201	24,850	25,381	
B	人件費	千円	9,917	8,163	5,461	10,342	
	総事業費(A+B)	千円	35,748	33,364	30,311	35,723	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	7,206	5,389	6,745	8,753	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	65	280	70	38	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	28,477	27,695	23,496	26,932	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000104 教育集会所管理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
主催事業参加者数	目標	7,000	7,000	7,000	7,000	
	実績		6,442	5,598	6,743	
	単位コスト	円	5.179	5.415	5.298	
活動実績	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	目標	35,000	34,800	34,800	34,800	
	実績		34,997	32,764	34,730	
教育集会所の利用者数	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果実績	目標					
	実績					
	単位コスト					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	第2次福知山市人権施策推進計画の基本理念のもと、人権施策を通して人権教育・啓発、相談事業など、差別を許さない人材育成を人権推進施設が中心となり進める必要がある。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	集会所ごとに事業を実施することで、地域課題に応じた人権啓発活動に繋がるとともに、集会所が地域の居場所となっている。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	節電等の取り組みにより維持管理経費の削減を進めていく。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 築30年を経過した教育集会所が多く、老朽化による施設の修繕・改修経費が増加している中、福知山市公共施設マネジメント計画に則り今後施設の維持管理についての検討が必要。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000105 人権教育・啓発推進補助事業				
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			
基本理念	12 人権・平和の尊重	担当部名	教育委員会			
基本方針	02 人権教育・人権啓発を推進する	担当課	生涯学習課			
施策の大綱		新規継続区分	継続事業			
施策		実施計画区分	実施計画事業			
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律					
構成予算事業		会計	款			
730234 人権教育・啓発推進補助事業	01	一般会計	10			
実施方法		項	目			
	国庫補助事業	05	社会教育費			
	府補助事業					
	市単独事業					
	直接実施					
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)					
	補助金 (補助先: 社会教育関係団体、自主活動グループ)					
事務事業の意図	社会教育関係団体及び市民団体グループ等が、人権問題の解決に向けて取り組む人権教育活動・啓発活動を支援する。					
(どのような状態にしたいか)						
対象	社会教育関係団体及び市民団体、自主活動グループ等					
(誰・何を対象に)						
事業内容	1 社会教育関係団体及び人権講座を受講後に、全市・小中学校単位で組織された自主活動グループ、市民団体等の人権教育活動への補助...748千円(11団体) 2 企業人権教育推進協議会への補助...270千円					
(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)						
関連事業						
(同一目的事業等)						
コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	負担金補助及び交付金	千円	1,670	1,018	1,157	1,210
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,670	1,018	1,157	1,210
	B 人件費	千円	462	462	764	1,293
総事業費(A+B)	千円	2,132	1,480	1,921	2,503	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源	千円	2,132	1,480	1,921	2,503	

計画事業評価表

計画事業		000105 人権教育・啓発推進補助事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	広報回数	目標	回	2	2	2	2
		実績			2	2	2
		単位コスト			740.000	384.200	125.150
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	申請団体数	目標	件	20	20	20	20
実績				11	12	14	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		人権問題の解決に向けて、社会教育団体や自主活動グループが主体的に取り組むことへの支援事業であり、必要と考えている。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民等の団体が自主的に行なわれる人権啓発活動に支援を行なうことで、地域や市民の課題に応じた人権啓発が行なうことができる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		広報の機会を増やすなど、周知を図り利用団体を増やしていく。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 補助金の申請団体が減少傾向にある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000108	差別を許さない人材育成事業																									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度	担当部名	教育委員会																						
基本理念	12	人権・平和の尊重			担当課	生涯学習課																					
基本方針	02	人権教育・人権啓発を推進する			新規継続区分	継続事業																					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業																					
施策					自由区分3	棚卸し未実施																					
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律																										
構成予算事業				会計	款	項	目																				
730223	差別を許さない人材育成事業			01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%; text-align: center;">国庫補助事業</td> <td style="width:33%; text-align: center;">府補助事業</td> <td style="width:33%; text-align: center;">市単独事業</td> </tr> <tr> <td colspan="4">直接実施</td> </tr> <tr> <td colspan="4">業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">補助金 (補助先:)</td> </tr> </table>													国庫補助事業	府補助事業	市単独事業	直接実施				業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)				補助金 (補助先:)			
	国庫補助事業	府補助事業	市単独事業																								
直接実施																											
業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)																											
補助金 (補助先:)																											
実施方法																											
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	あらゆる差別を許さず見逃さない、心豊かな人権感覚を持った子どもの育成を目指し、S T A R (差別を許さない子ども育成協議会) が子ども会員を組織化し、子どもの育成に取り組む。																										
対象 (誰・何を対象に)	福知山市内在住の小・中学生																										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども会員の組織化及び人権ワークショップ研修の実施 2 障害のある子どもの社会参加支援事業(神戸ルミナリエハートフルデー) 3 国際交流事業 4 中学生人権文化体験研修 5 ヒューマンフェスタ(「もりいさむ」さん公演) 																										
関連事業 (同一目的事業等)																											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	218	239	331	150
		需用費	千円	167	122	92	192
		備品購入費	千円	178	103	34	0
		使用料及び賃借料	千円	135	90	105	0
		報償費	千円	159	42	63	43
		役務費	千円	22	29	1	3
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	85
	小計	千円	879	625	626	473	
	B	人件費	千円	0	1,754	2,291	3,016
	総事業費(A+B)	千円	879	2,379	2,917	3,489	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	334	218	251	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	545	2,161	2,666	3,489	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000108 差別を許さない人材育成事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	年間活動事業数	目標	事業	8	8	8	8
		実績		6	10	7	
		単位コスト		円	396.5	291.7	498.429
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	55	55	55	55
		実績		43	52	58	
		単位コスト					
	成果実績	子ども会員登録数	目標	人	160	160	160
			実績		71	67	70
一年間の子ども会員参加者数		目標	人				
		実績					
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		「差別を許さない人材育成基本計画」及び「福知山市人権教育実施方針」に基づき実施している。あらゆる差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚を持った子どもの育成のためには、今後も必要な事業である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		STAR(差別を許さない子ども育成協議会)子ども会員事業を通じ、将来人権リーダーとして活躍できる人材の育成を図っている。沖縄・長崎・広島研修に参加した高校生とも交流を行い、人権について考え行動できる子どもの輪が広がっている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		今後モリーダーとなる子どもの育成を図るなど、より主体的な事業運営ができるよう進めていく。また、STAR(差別を許さない子ども育成協議会)おとな会員や、子ども会員の保護者を対象にワークショップを実施し、子ども達の育成に関する経験、専門性を培っていく			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) ここ数年新規の会員加入がない。今後の事業展開を考えながら新規会員獲得に向けた取組が必要。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
縮小	×		×	×	
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000109 沖縄人権文化体験研修事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	12	人権・平和の尊重			担当課	生涯学習課			
基本方針	02	人権教育・人権啓発を推進する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律								
構成予算事業			会計		款		項		目
730225	沖縄人権文化体験研修事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01 社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業		
実施方法			直接実施						
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)						
実施方法			補助金 (補助先:)						
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			日本で唯一地上戦が行われた沖縄に行き、戦争の実相に触れ、戦争の悲惨さと平和の尊さ、沖縄の歴史と文化について学ぶとともに、ハンセン病の療養所を訪問し、日本の中での沖縄の問題とハンセン病問題について、人権の視点から考え、自ら学んだことを学校や地域で生かすことのできる人材の育成を図る。						
対象 (誰・何を対象に)			福知山市内の高校に通学する生徒、中丹支援学校の生徒、18歳以下の社会人						
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			沖縄での人権文化・平和研修 「第2次福知山市人権施策推進計画」及び「差別を許さない人材育成計画」に基づき実施している。 歴史や文化、沖縄戦と平和の問題を現地で人権という視点で学習を深め、市や学校の行事で成果報告をする。						
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	旅費	千円	509	407	359	0
	使用料及び賃借料	千円	161	140	130	0
	報償費	千円	40	33	33	40
	委託料	千円	18	18	18	8
	需用費	千円	14	13	12	8
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	602
小計	千円	742	611	552	658	
B	人件費	千円	3,138	3,138	3,600	2,757
総事業費(A+B)		千円	3,880	3,749	4,152	3,415
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	218	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	3,880	3,531	4,152	3,415	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000109 沖縄人権文化体験研修事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	参加高校生数	目標	5	5	5	5	
		実績	人		5	5	5
		単位コスト	円		749.800	830.400	131.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	他事業との連携回数	目標	5	5	5	5	
		実績	回		5	5	5
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

担当課評価	事項	担当課評価																																
担当課評価	事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	「第2次福知山市人権施策推進計画」及び「差別を許さない人材育成基本計画」に基づき実施している。今後も高校生の人材育成に必要である。																																
	事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	戦争の悲惨さや平和の大切さについて、人権の視点から考え地域や学校で啓発できる人材の育成にもつながっていく。																																
	事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	研修の成果を学校や地域などで啓発できるような意識づけに今後も取り組んでいく。																																
	コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																
	事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性					
成果の方向性	拡充		×																															
	維持		×	○		×																												
	縮小		×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000110	公民館・企業巡回人権教育講座事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会			
基本理念	12	人権・平和の尊重			担当課	生涯学習課		
基本方針	02	人権教育・人権啓発を推進する			新規継続区分	継続事業		
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業		
施策					自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律							
構成予算事業				会計	款	項	目	
730228	公民館・企業巡回人権教育講座事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01 社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業		
		直接実施						
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)						
		補助金 (補助先:)						
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		地域公民館や企業、幼稚園等が主体となって、地域や各企業の実態に即した人権学習を実施し、人権という普遍的文化の創造と市民が主体となって「共に幸せを生きる」共生社会の実現を進める。						
対象 (誰・何を対象に)		地区公民館や企業、幼稚園等						
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		1 地区公民館巡回人権講座の実施 2 企業巡回人権講座の実施 3 人権教育講座に係る啓発パンフレットの作成等 需用費 : 啓発パンフレットの作成 備品購入費 : 啓発DVD・機材(プロジェクター)の購入						
関連事業 (同一目的事業等)								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	備品購入費	千円	655	304	242	0
		需用費	千円	52	50	50	62
		委託料	千円	0	9	11	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	207
	小計	千円	707	363	303	269	
	B	人件費	千円	8,340	8,340	5,252	2,930
	総事業費(A+B)	千円	9,047	8,703	5,555	3,199	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	128
		府支出金	千円	267	133	91	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,780	8,570	5,464	3,071	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000110 公民館・企業巡回人権教育講座事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	講座開催会場数	目標	会場	80	80	100	100
		実績			69	64	80
		単位コスト	円		126.130	86.800	39.988
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	講座参加者数	人	目標	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績		2,182	2,373	2,824
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		地区公民館や企業が主体となって実施する人権学習を支援する事業であり、必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		生涯各期でシームレスに人権研修を行うことが大切であり、そのために重要な研修の機会となっている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		さまざまな人権研修と組み合わせながら、計画的に実施する。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 高齢化等により1自治会での開催ができなくなり、複数自治会や地区公民館単位での開催に変更する地域が増えており、そのことに伴い開催回数等も減っている。地域の現状に合わせながら、事業を継続することで、中央で開催される人権講演会に参加できない市民の研修機会を確保する必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
成果の方向性	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000111	人権教育学習教材事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	12	人権・平和の尊重			担当課	生涯学習課				
基本方針	02	人権教育・人権啓発を推進する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律									
構成予算事業			会計	款	項	目				
730230	人権教育学習教材事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			市民が人権尊重の理念について理解を深め、実践につなげることができるように、人権教育学習教材を作成する。							
対 象 (誰・何を対象に)			市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			1 人権と平和に関する標語の募集 2 「That's Right」の発行 3 「福知山市の人権教育」の発行 4 人権学習教材の作成 視覚障害者用人権学習教材の作成							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	962	827	818	836
		役務費	千円	0	3	12	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	962	830	830	836	
	B	人件費	千円	1,488	1,488	936	1,724
	総事業費(A+B)	千円	2,450	2,318	1,766	2,560	
財源内訳	国支出金	千円	300	300	300	509	
	府支出金	千円	324	263	255	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,826	1,755	1,211	2,051	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000111 人権教育学習教材事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	応募作品点数	目標	点	8,500	8,500	8,500	8,500	
		実績			8,860	8,167	9,031	
		単位コスト			0.261	0.216	0.283	
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		啓発氏の配布 「That 's Right」	目標	部	全戸配布	全戸配布	全戸配布	全戸配布
			実績			全戸配布	全戸配布	全戸配布
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市民が人権尊重の理念について理解を深めるためには、必要な取り組みである。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		人権標語の募集や「That 's Right」の発行など、市民に身近な問題として人権問題について考えてもらう機会として有功である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		今後も有効な財源の活用など、経費の削減について努力していく。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 冊子等作成に当たり、音声版の作成や色覚障害のある人に見やすい配色での作成など、障害のある人にもご利用いただける物にする工夫により、より人権に配慮した人権啓発冊子とする必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
休廃止	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000112	共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	12	人権・平和の尊重			担当課	生涯学習課				
基本方針	02	人権教育・人権啓発を推進する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律									
構成予算事業			会計	款	項	目				
730231	共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			「共に幸せを生きる」共生社会の実現に向けて、予断や偏見に基づく差別や人権侵害を解決するために、人権講演会や研修会、ワークショップを行い、人権問題を正しく理解するとともに、一人ひとりがかけがえのない存在であることを認識し、人権を尊重した誰もが生きやすいまちづくりを進める。							
対象 (誰・何を対象に)			市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			1 PTA・小学校・地域公民館共催の人権講座 2 企業人権教育講座 3 人権教育指導者養成講座							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報償費	千円	1,300	925	646	909
	需用費	千円	162	216	159	152
	役務費	千円	100	205	381	138
	備品購入費	千円	178	83	140	0
	使用料及び賃借料	千円	0	1	1	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	2	124
	小計	千円	1,740	1,430	1,329	1,323
B	人件費	千円	4,338	4,338	5,891	3,877
総事業費(A+B)		千円	6,078	5,768	7,220	5,200
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	611
	府支出金	千円	789	664	617	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
一般財源		千円	5,289	5,104	6,603	4,589

計画事業評価表

計画事業		000112 共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	講座の実施回数	目標	回	15	15	15	15
		実績			21	19	17
		単位コスト			274.667	380.000	305.882
	小・中学校と学社連携での開催数	目標	回	16	16	16	16
		実績			23	19	15
		単位コスト			250.783	380.000	346.667
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
様々な人権問題の学習を実施する	目標	種類	10	10	10	10	
	実績			10	10	10	
講座への参加者数	目標	数	4,200	4,200	4,200	4,200	
	実績			4866	3,340	3,495	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		「第5次総合計画」「第2次人権施策推進計画」に基づき実施している。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		研修機会の少ない若い保護者世帯も対象にしており、大切な事業と考えている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地域公民館や小・中学校と連携し、参加者数を増やす取り組みを進める。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 公民館や学校・園などに対し更に講座の開催を働きかけ、より多くの市民の人権学習の機会を増やす。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000113 教育集会所学習活動事業				
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			
担当部名	教育委員会					
基本理念	12 人権・平和の尊重	担当課	生涯学習課			
基本方針	02 人権教育・人権啓発を推進する	新規継続区分	継続事業			
施策の大綱		実施計画区分	実施計画事業			
施策		自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律					
構成予算事業		会計	款	項	目	
730236	教育集会所学習活動事業	01 一般会計	10 教育費	05 社会教育費	01 社会教育総務費	
実施方法	国庫補助事業	府補助事業	市単独事業			
	直接実施					
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)					
	補助金 (補助先:)					
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 同和問題などあらゆる人権問題の解決を目指すとともに、地域住民の交流、文化活動を推進する。					
対象	(誰・何を対象に) 市民					
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 各集会所で人権教育啓発活動、各種学習会及び住民交流活動を推進する。					
関連事業	(同一目的事業等)					
コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	報償費	千円	2,072	1,616	1,475	0
	使用料及び賃借料	千円	332	323	310	0
	需用費	千円	287	209	257	337
	委託料	千円	9	21	23	34
	旅費	千円	3	2	2	0
	役務費	千円	1	2	0	0
	報酬	千円	0	0	0	1,756
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	その他	千円	83	0	0	417
	小計	千円	2,787	2,173	2,067	2,544
	人件費	千円	4,731	6,023	6,627	4,050
総事業費(A+B)	千円	7,518	8,196	8,694	6,594	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	1,508
	府支出金	千円	1,726	1,284	1,753	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源	千円	5,792	6,912	6,941	5,086	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000113 教育集会所学習活動事業						
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
		人権問題の啓発、交流事業実施回数	目標	回	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績			762	754	643
	単位コスト		円		10.756	11.531	10.255	
		目標						
		実績						
		単位コスト						
		目標						
		実績						
		単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
		学習活動の参加者	目標	人	6,500	6,500	6,500	6,500
	実績				6,442	5,598	6,783	
		目標						
		実績						
		目標						
実績								

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		第2次福知山市人権施策推進計画の基本理念のもと、人権施策をとおして人権教育・啓発、相談事業など、差別を許さない人材育成を人権推進施設が中心となり進める必要がある。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民ニーズに応える学習会、研修会を実施することで地域課題の解決を進めることができる。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地域の実態を把握することに努め、教育集会所が開催する事業において市民が主体となり、「共に幸せを生きる」、市民が交流でき、学習、研修できる施設とする。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 施設担当者への指導により企画力を高めながら、市民ニーズに応える学習会・研修会を実施することで、より多くの市民が参加できるよう工夫する。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000957	人権の輪つながりひろがり事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	12	人権・平和の尊重				担当課	生涯学習課			
基本方針	02	人権教育・人権啓発を推進する				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律									
構成予算事業			会計		款		項		目	
730244	人権の輪つながり広がり事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			差別を許さない人材育成事業(STAR事業で子ども会員の育成を実施)での取組みと、広島・長崎・沖縄で人権研修を行なった子ども達をつなぎ、人権リーダーとして育成する。							
対 象 (誰・何を対象に)			中学生・高校生							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			様々な人権研修・人権学習に関わっている中・高校生たちの交流会及びワークショップを実施、学習内容の共有や仲間づくりを通じて、人権啓発リーダーとして活躍する人材を育成する。							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報償費	千円	90	47	38	0
		使用料及び賃借料	千円	25	17	76	0
		委託料	千円	27	12	0	0
		需用費	千円	102	6	7	0
		旅費	千円	3	2	0	0
		役務費	千円	13	2	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	260	86	121	0	
	B	人件費	千円	2,031	2,031	2,400	0
	総事業費(A+B)	千円	2,291	2,117	2,521	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	45	42	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,246	2,075	2,521	0	

計画事業評価表

計画事業		000957 人権の輪つながりひろがり事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	事業実施回数	目標	回	4	4	4	
		実績			4	3	
		単位コスト			529.250	840.333	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	参加者数	目標	人	40	40	40	
実績				29	31		
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		中・高校生を人権リーダーとして育成することで共に幸せを生きるまちづくりをすすめる			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市の様々な部署で人権学習をしている子ども達を繋ぐことで、互いの学びを共有する中でより人権についての深い理解と行動ができる子どもを育成することができる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		人権学習に自ら参加し学んできた子ども達を対象とすることで、それまでの学びを更に深めながらリーダーとして活躍できる人材の育成に繋がる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 対象が中学生・高校生であるため、学校のクラブ活動や習い事等で活動に参加できる子どもが少ない。 開催時期や時間等を工夫しながら更に参加者を増やすことが必要。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000991	障害者講座事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	54	障害のある人の福祉の充実			担当課	生涯学習課			
基本方針	02	自立と社会参加を促進する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
420301	障害者講座事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
420380	障害者成人講座事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		知的障害者、視覚障害者及び聴覚障害者のそれぞれが、仲間とともに充実した生活を送り、自ら進んで社会参加できるような社会教育の場として、学習と交流の機会を提供する。							
対象 (誰・何を対象に)		15歳以上の障害のある人(障害者青年学級) 視覚障害者及び聴覚障害者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>障害者青年学級 講座12回を実施。主体的に立案した講座に加え、調理実習や宿泊体験学習、北部青年学級交流会への参加を実施している。</p> <p>視覚障害者成人講座 講座4回を実施。料理教室や健康教室を実施するほか、近隣施設などに視察に行き、様々な体験を行い、仲間とともに交流し、楽しみながら学習している。</p> <p>聴覚障害者成人講座 講座4回を実施。介護保険制度や健康についてのお話を聞いたり、様々なテーマで行っている。</p> <p>H27年度より障害者成人講座事業と障害者青年学級事業を統合</p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	71	90	0	0
		報償費	千円	142	80	0	0
		委託料	千円	66	60	0	0
		使用料及び賃借料	千円	88	57	0	0
		役務費	千円	27	54	0	0
		旅費	千円	57	35	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	451	376	0	0
B	人件費	千円	0	2,862	0	0	
総事業費(A+B)		千円	451	3,238	0	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	451	3,238	0	0		

計画事業評価表

計画事業		00091	障害者講座事業				
事業実績と成果	活動実績	(障害者青年学級) 講座開催回数	目標	12	11		
			実績		12		
			単位コスト		294.364		
		(聴覚障害) 講座開催回数	目標	4	4		
			実績		4		
			単位コスト				
	(視覚障害) 講座開催回数	目標	4	4			
		実績		4			
		単位コスト					
	成果実績	(障害者青年学級) のべ参加人数	目標	360	360		
			実績		245		
		(聴覚障害) 講座参加人数	目標	60	60		
実績				35			
(視覚障害) 講座参加人数		目標	100	100			
		実績		85			

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		障害者青年学級 平成27年度の学級活動登録者は43名である。学級生の自主性を重んじる中で仲間の輪が広がり、社会参加の場を拡大することになることから市が取り組む必要性は高い。視覚障害者や聴覚障害者も参加できる環境の一般向け講座はまだ少なく、障害に応じて配慮された講座の開催は引き続き取り組む必要がある。同じ障害を持つもの同士の情報交換の場としても大変有効である。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		障害者青年学級 社会生活範囲や人間関係が限定されがちな学級生は、青年学級が心の拠り所となっており、開催を心待ちにしている。 視覚障害者・聴覚障害者 社会福祉課主管事業との重複をさけるため、担当者同士の情報交換に努めている。講座の開催にあたっては、それぞれの協会と協議を行い学習ニーズに応えながら一方				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		障害者青年学級 年度当初に年間事業計画を学級生と一緒に立案し、月1回の講座内容を充実するよう努力している。(弁当代や材料費など相応の受益者負担をお願いしている。) 視覚障害者・聴覚障害者 有効な財源は、障害者福祉制度にあるようなので、今後は連携して事業実施できれば、財源の活用とコスト削減につながるため、検討する必要がある。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)				
成果の方向性	拡充	x				障害者青年学級 学級生の主体的な活動の場と仲間づくりが進むように内容を充実させつつ、社会参加につなげ共生社会の実現を目指す。 障害者と取り巻く地域社会のかかわりが過疎・高齢化により低下している中、今後一層中丹支援学校や福祉サイドとの連携を図る必要がある。 視覚障害者・聴覚障害者 社会福祉課主管事業との重複を避け、有効な財源の活用とコスト削減のために、社会福祉課との事業調整及び補助制度活用のための検討が必要となっている。
	維持	x			x	
	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000083	放課後児童クラブ事業			
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会
基本理念	55	子育て支援の充実		担当課	生涯学習課
基本方針	04	家庭と仕事の両立を支援する		新規継続区分	継続事業
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業
施策				自由区分3	H28棚卸し(公開)
根拠法令	児童福祉法				
構成予算事業		会計		款	項
430304	放課後児童クラブ運営事業	01	一般会計	10	教育費
					05
					社会教育費
					01
					社会教育総務費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業			
		直接実施			
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 上豊富保育園)			
		補助金 (補助先: 金谷・上川口・佐賀・上六人部・天津・中六人部)			
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	全小学校区に児童クラブを開設し、放課後及び学校休業中に児童を預かり、遊びと生活の場を提供するとともに子どもの健全育成を図る。				
対象 (誰・何を対象に)	小学生を持ち、就労している家庭				
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	<p>保護者が就労や介護等により、昼間家庭にいない小学生を預かる。</p> <p>直営クラブ(指導員賃金94,641千円・需用費3,142千円・役務費1,164千円・その他6,683千円) 補助クラブ(運営補助金16,309千円) 委託クラブ(運営委託料4,400千円)</p> <p>【平成26年度から生涯学習課で所管:(平成25年度まで子育て支援課)】</p>				
関連事業 (同一目的事業等)					

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	146,538	101,748	97,856	0
		工事請負費	千円	10,580	83,535	42,360	0
		負担金補助及び交付金	千円	24,238	21,255	16,236	0
		委託料	千円	8,335	6,790	8,798	4,400
		需用費	千円	5,700	5,426	5,147	3,142
		役務費	千円	3,951	3,178	3,261	1,164
		備品購入費	千円	519	743	4,350	0
		報償費	千円	221	255	70	0
		旅費	千円	275	134	43	0
		その他	千円	0	0	0	117,676
	小計	千円	200,477	223,118	178,151	126,382	
財源内訳	B	人件費	千円	19,115	19,115	21,247	9,850
		総事業費(A+B)	千円	219,592	242,233	199,398	136,232
		国支出金	千円	21,996	0	0	43,747
		府支出金	千円	34,114	10,735	40,280	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	10,000	30,800	39,900	0
財源内訳	C	その他特財	千円	43,082	0	28,889	23,954
		地方債・その他特財コメント					
		一般財源	千円	110,400	200,698	90,329	68,531

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000083 放課後児童クラブ事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	児童クラブ開設学区数	目標	学区	23	23	23	23
		実績			23	23	23
		単位コスト			10531.869	8669.478	5923.130
	児童クラブ開設クラブ数	目標	室	27	27	27	27
		実績			22	19	19
		単位コスト			11010.590	10494.631	7170.105
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
児童クラブ受け入れ数	目標	人	1,400	1,200	1,100	1,100	
	実績			1,251	1,111	1,019	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		仕事と子育てを両立するにあたって、就労時に小学生を安心して預けられることは最も重要なことであり、その受け皿となる児童クラブの設置は必要不可欠なものである。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		児童を放課後や土曜日及び学校の長期休業中に預かり、保護者の就労支援となっている。更に、児童の健全育成に寄与している。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		学校施設や公共施設を利用する等、維持管理費の削減に努めている。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)				
成果の方向性	拡充	x				受け入れ対象を小学6年生まで拡大することを目途に、施設整備や指導員の確保を進め、28年度中に完了する。 利用児童は、今後も増加すると想定している。それに伴い、施設面で更なる整備の必要性がある。 児童の発達段階や個性に応じた関わりや指導ができるように、指導員の資質向上が必要不可欠である。
	維持	x			x	
	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
		皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000062	こだま教育運動事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	71	青少年の健全育成			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	健全育成体制を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業		会計		款		項		目	
610114	平成こだま教育推進事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
	補助金 (補助先: 各地域公民館等)								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 本市の社会教育の重点に基づき、市民全体の人間力の向上、特に時代を担う青少年の健全育成をめざして、家庭・学校・地域社会の連携を大切にして市民総がかりで活動を展開する。								
対象	(誰・何を対象に) 市民								
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 掲示教育の推進 各自治会単位でこだま教育推進員(353人)を委嘱し、市内353箇所月2回掲示文を板書している。 啓発紙の発行 市内全市配布の啓発紙と市内児童生徒の家庭用啓発紙を各年1回発行している。 青少年学校外活動事業 青少年の学校外活動の推進や家庭と地域における教育力の向上を図る取り組みを各地区公民館を中心に取り組んでいる。 (親子ふれあい事業・美化作業・各種体験事業等、各公民館で実施)								
関連事業	(同一目的事業等) 心の教育実践活動事業、青少年健全育成事業								
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度			
		負担金補助及び交付金	千円	1,931	735	489	489		
		需用費	千円	1,399	543	543	530		
		役務費	千円	74	81	82	77		
		報酬	千円	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		小計	千円	3,404	1,359	1,114	1,096		
		B 人件費	千円	0	3,537	4,334	1,200		
		総事業費(A+B)	千円	3,404	4,896	5,448	2,296		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	1,702	0	0	0			
	国・府支出金コメント								
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他特財	千円	0	0	0	0			
地方債・その他特財コメント									
一般財源	千円	1,702	4,896	5,448	2,296				

計画事業評価表

計画事業		000062 こだま教育運動事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	教育推進員による掲示活動	目標	回	年24回(月2回)	年24回(月2回)	年24回(月2回)	年24回(月2回)
		実績			年24回(月2回)	年24回(月2回)	年24回(月2回)
		単位コスト			204	227.000	95.667
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	箇所	357	357	357	357
		実績			353	355	357
		単位コスト					
	成果実績	目標	箇所				
		実績					
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		掲示教育において、全国に誇れる教育のまちづくりの実践活動を昭和53年度から継続して展開している。 各地域でこの事業が定着し、それぞれの地域実態にあった取組みが進められている。啓発事業では市民総がかりで子育てをする風土づくりをするための問題提供を行っている。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		掲示教育において、地域づくり、環境、人権等の啓発文を掲示し、全国に誇れる教育のまちづくりの実践活動を継続して展開した。市内あちこちの掲示板の前に立ち止まって啓発文をよむ親子の姿も多く見られる。 青少年学校外活動についても、地域全体で子どもたちを守り育てる取り組みにつながっている。 平成22年度からは、家族だんらんの日をより具体的に活動方針として進めている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		掲示板に板書している推進員(353名)はボランティアでお願いしている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 家庭・学校・地域社会が連携して青少年健全育成を地区公民館を中心に進めている。「家族だんらんの日」作文を募集し、こだま研究員による審査を経て、作文集を作成し、全戸配布している。 今後、第16期社会教育委員の提言を基に「家族だんらんの日」(毎月11日)の普及・啓発をより一層、実施していく。			
成果の方向性	拡充 × ○ × × 維持 × ○ × × 縮小 × × × × 休廃止 × × ×	皆減 縮小 維持 拡大			
	コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000063	心の教育実践活動事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成10年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	71	青少年の健全育成		担当課	生涯学習課				
基本方針	01	健全育成体制を充実する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
610107	心の教育実践活動事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先: 各地域公民館)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		家庭・地域・学校が連携し、あいさつ運動等を通して、思いやりを持ったたくましい子どもたちを育てる。							
対象 (誰・何を対象に)		市内の児童・生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		心の教育実践活動の支援 実践活動推進本部を設置し、各地域公民館ブロックで「あいさつ運動」「家族だんらんの日」の普及に取り組むとともに、地域と学校が連携してボランティア活動などさまざまな体験活動を実施している。 平成28年度から、平成こだま教育推進事業に統合							
関連事業 (同一目的事業等)		平成こだま教育推進事業、青少年健全育成事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	1,170	1,170	1,170
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	1,170	1,170	1,170
B	人件費	千円	0	1,527	1,468	625
	総事業費(A+B)	千円	0	2,697	2,638	1,795
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	0	2,697	2,638	1,795

計画事業評価表

計画事業		000063 心の教育実践活動事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	活動ブロック数	目標	箇所		10	10	10
			実績			10	10	10
			単位コスト			269.700	263.800	179.500
	活動実績		目標					
			実績					
			単位コスト					
	活動実績		目標					
			実績					
			単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	成果実績	あいさつ運動実施回数	目標	回		12	12	12
実績					12	12	12	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		現代的課題である、「次代を担う青少年の健全育成」の重要性に視点をあて、家庭・学校・地域社会が連携して取組みを進め、「君が好き！あなたが大事」をスローガンに、心に迫る内容を更に充実する必要がある。いじめが社会問題になっている状況の今日こそ活動が重要になっている。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各ブロックの実践活動を通じて、子どもを中心とした地域住民の交流が図られた。家庭・学校・地域社会の役割分担と24時間の見守り。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		各公民館ブロックにおいて、地域にあった取組みを実施し、相応の地元負担もいただいている。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td>○</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x				維持	x		○	x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 各ブロックで実践活動をとおして地域住民と児童・生徒たちとの交流を図ることができた。今後、地域による学校支援を推進していく必要がある。			
成果の方向性	拡充		x																																			
	維持		x		○	x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000064	青少年健全育成事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	71	青少年の健全育成			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	健全育成体制を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
610102	子ども会育成事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
610204	青少年健全育成事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		<p>子ども会育成事業 福知山市子ども会指導者連絡協議会を中心として、各地域の子ども会組織の充実と活動の促進を図る。</p> <p>青少年健全育成事業 家庭と地域・学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できる人材を育成する。</p>							
対象 (誰・何を対象に)		市の将来を担う子ども達							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>子ども会の育成 成人指導者研修会・生き生き探検隊等の活動を通じて指導者養成を進める。(子ども大会・救急救命研修・いきいきキャンプ)</p> <p>青少年健全育成事業 青少年問題協議会の開催 青少年健全育成大会の開催 「青少年を非行から守り健全に育てる運動」等の啓発活動</p>							
関連事業 (同一目的事業等)		心の教育実践活動事業、平成こだま教育推進事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	163	553	968	968
		使用料及び賃借料	千円	0	294	242	0
		需用費	千円	121	150	114	161
		報酬	千円	104	112	48	98
		役務費	千円	111	76	101	71
		委託料	千円	0	25	49	37
		報償費	千円	10	5	5	0
		旅費	千円	8	1	1	0
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	259
	小計	千円	517	1,216	1,528	1,594	
	B	人件費	千円	0	8,548	12,097	6,435
	総事業費(A+B)	千円	517	9,764	13,625	8,029	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	517	9,764	13,625	8,029	

計画事業評価表

計画事業		000064 青少年健全育成事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	子ども会指導者連絡協議会主催事業開催回数	目標	回	7	7	7	7
		実績			4	4	4
		単位コスト			2441.000	3406.25	2007.250
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	各地区育成協議会活動回数	目標		0	0	90	90
実績			0	0	110	107	
子ども大会参加者数	目標		0	5,500	5,500	5,500	
	実績		0	5,000	4,000	4,500	
成果実績	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市民の力で次代を担う青少年の健全育成は自治体の大きな課題であり、必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各地域主体による子どもの人材育成は、各地域の指導者の人材養成も含めて、大変有効な手法である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		子ども大会では、有料ゲームによる売上金を大会経費として活用している。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 子ども会育成事業のうち、子ども大会は、平成27年度の第50回をもって終了した。子ども会員の減少と役員の負担が大きく、福知山市子ども会指導者連絡協議会を休会する団体が多くある中で、今後の市子連のあり方について平成28年度に検討する。青少年健全育成事業は「家族だんらんの日」の普及を重点に継続し実施していく。福知山市青少年健全育成協議会は、平成26年度をもって閉会			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
縮小	×		×	×	
	休廃止		×	×	×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000065	少年補導センター運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	71	青少年の健全育成				担当課	生涯学習課		
基本方針	01	健全育成体制を充実する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
610106	少年補導センター運営事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		巡回指導等により、青少年の非行防止と健全な生活を確保し、誰もが安全安心に暮らせる地域を目指す。							
対象 (誰・何を対象に)		青少年 市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		少年の非行を防止し、その健全な育成を図るため、市内の巡回補導、少年に関する相談、情報資料の収集等を実施する。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報償費	千円	1,220	968	997	0
	需用費	千円	254	167	211	80
	報酬	千円	224	80	72	1,082
	役務費	千円	86	69	63	89
	負担金補助及び交付金	千円	42	34	2	20
	旅費	千円	70	26	41	0
	委託料	千円	14	9	14	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	その他	千円	15	0	16	34
	小計	千円	1,925	1,353	1,416	1,305
B	人件費	千円	0	3,335	3,268	3,000
総事業費(A+B)		千円	1,925	4,688	4,684	4,305
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源		千円	1,925	4,688	4,684	4,305

計画事業評価表

計画事業		000065 少年補導センター運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	少年補導委員による少年補導活動回数	目標	回	330	330	330	330
		実績			292	314	316
		単位コスト			16.055	14.917	13.623
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	100	100	100	100
		実績			91	93	96
		単位コスト					
	少年補導委員数	目標	人	100	100	100	100
		実績			91	93	96
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		ほぼ毎日活動される「愛の一声運動」は、犯罪の未然防止活動としてその必要性は高い。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市の青少年非行の状況は厳しいものがあるなか、子ども達に目を向け、各関係機関と連携を図りながら、青少年の非行防止活動と健全育成に資する効果は大きい。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		青少年非行、社会問題が複雑化する中で、ほぼ毎日昼間・夜間に3～5人体制で取り組む街頭補導活動は、適時・適地に効率的に取り組まれている。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 今日少年を取り巻く社会情勢が深刻化する中で、少年非行等の諸問題を解決していくためには、警察による少年事件の検挙活動のみでなく、街頭巡回・相談活動等の方法により少年が非行に走る前の、問題行動の段階で早期に対処する必要があり、少年補導センターはその拠点として大きな役割をになっている。 (1) 福知山市中心地域の補導活動だけでなく、周辺地域(中学校区ごと)などの補導活動の工夫と強化。 (2) 組織拡大による補導委員相互の連携強化と補導委員の育成。 (3) 相談活動や環境浄化活動の充実と保護司会等の関係機関との連携強化。				
成果の方向性 拡大 縮小 維持 休廃止	皆減 縮小 維持 拡大					
	コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000067	成人式事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	71	青少年の健全育成	担当課	生涯学習課					
基本方針	01	健全育成体制を充実する	新規継続区分	継続事業					
施策の大綱			実施計画区分	実施計画事業					
施策			自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
610301	成人式事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		青年が次代を担う者としての自覚を高め、社会の一員としての意識を養い、自己の確立に努めることを基本方針とし、その方針を具現化するために成人の日の前日に式典を挙行し、参集した新成人を祝い、激励することを目的とする。							
対象 (誰・何を対象に)		新成人							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		成人式の開催 平成28年1月10日(日)開催 出席者643人 参加率83.2%(対住民登録数) 内容 高校生による司会進行 高校生による吹奏楽演奏(アトラクション) 新成人の主張 メッセージ集の作成・配布(恩師等からのお祝いメッセージ) 市内各高校ボランティアによる式典運営協力							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	465	443	550	519
		委託料	千円	468	375	345	284
		使用料及び賃借料	千円	251	335	306	0
		役務費	千円	71	59	62	19
		報償費	千円	53	40	40	0
		報酬	千円	0	0	0	50
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	312
	小計	千円	1,308	1,252	1,303	1,184	
	B	人件費	千円	0	2,198	2,475	1,840
	総事業費(A+B)	千円	1,308	3,450	3,778	3,024	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	1,308	3,450	3,778	3,024	

計画事業評価表

計画事業		000067 成人式事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
式典開催	目標	1	1	1	1	
	実績		1	1	1	
	単位コスト		3450.000	3778.000	3024.000	
	目標					
	実績					
	単位コスト					
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
出席者の割合	目標	100	100	100	100	
	実績		83.2	79.6	79.9	
出席者数	目標	777	772	808	757	
	実績		643	643	605	
目標						
実績						

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	成人式は全国的にも定着している事業であり必要である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	社会の一員としての意識を養い、新成人を祝福・激励することは有効である。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	アトラクションなど外注せず、コスト削減に努めている。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成18年から会場を厚生会館から三段池公園総合体育館へ移し、多数の参加で厳粛なうちにも祝意をこめた成人式となっている。大きなトラブルもなく、今後も三段池公園総合体育館での開催を継続していく。平成28年度については三段池公園総合体育館が改修のため、厚生会館で実施する。 また、平成19年度から実施している日曜日(成人の日前日)の午後開催については好評であり、今後も継続としたい。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000068	公誠子ども教室事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	71	青少年の健全育成				担当課	生涯学習課			
基本方針	01	健全育成体制を充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
610302	公誠子ども教室事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			公誠地区の放課後等における子どもたちの安全で健やかな居場所、まなびの場づくりを目指す。							
対 象 (誰・何を対象に)			休校中の公誠小学校の校区内に居住する児童							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>国の提唱する「放課後子どもプラン」を推進するため、休校中の公誠小学校区の児童に対し、放課後等における子どもたちの安全で健やかな居場所、まなびの場づくりを目指す「公誠こども教室」を実施する。</p> <p>財源：京都府補助 2/3 (内、国庫分1/3)、本市1/3</p> <p>平成27年度実績 登録児童14人 教室開講日数195日 延べ参加人数1,242人</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報償費	千円	1,706	1,870	2,063	0
		需用費	千円	55	32	43	20
		報酬	千円	0	0	0	2,171
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,761	1,902	2,106	2,191	
	B	人件費	千円	0	831	654	1,200
総事業費(A+B)		千円	1,761	2,733	2,760	3,391	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	1,241	
	府支出金	千円	1,174	1,004	1,161	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源		千円	587	1,729	1,599	2,150	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000068 公誠子ども教室事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	実施箇所数	目標	箇所	1	1	1	1
		実績			1	1	1
		単位コスト			2733.000	2760.000	3391.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	1400	1,400	1,400	1,400
		実績			1,242	1,668	2,091
		単位コスト					
	成果実績	目標					
		実績					
単位コスト							

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		公誠小学校の休校に伴い「地域に子どもの声が残るように」という教育的配慮により、地域の子どもを地域で育てることで、地域の活性化を図るという観点からも今後も必要である。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域の方々に参画してもらいながら、子どもたちの安全な居場所の確保を図り、子どもたちを心豊かに育む取り組みとなっている。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		財源は、国と府で事業費の2/3が補助金として交付される。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 教室運営を支えている地域住民の高齢化により、開設日数の増加や開設時間の延長など、教室運営の充実を望む保護者の要望に、対応しきれない。休校中の小学校区在住の世帯数は限られており、保護者に重い負担をかける事態は避けたい。平成28年度の在籍者は、11人で、内訳は6年4人、5年1人、4年3人、3年1人、2年2人である。平成29年度以降の在籍推計は平成29年7人、30年6人、31年3人、32年2人と推移する見込みであり、今後縮小の方向である。この事業は学校統合の条件でもあり、今後地元と協議していく必要がある。				
成果の方向性	拡充 × ○ ○ ○ 維持 × ○ ○ ○ 縮小 × ○ × × 休廃止 × × ×	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000072	勤労青少年ホーム運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会					
基本理念	71	青少年の健全育成			担当課	生涯学習課					
基本方針	01	健全育成体制を充実する			新規継続区分	継続事業					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業					
施策					自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	勤労青少年福祉法										
構成予算事業		会計		款		項		目			
610206	勤労青少年ホーム運営事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	71	勤労青少年ホーム費		
610115	旧勤労青少年ホーム施設管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費		
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
		直接実施									
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
		補助金 (補助先:)									
	事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	市内の勤労青少年を対象に様々な講座を開設し、社会人としての教養を高め、友達づくりによる人間関係の構築、健康増進を図り、希望ある将来設計をつくり上げる力を身につける。 安定就業の促進を図り、次代を担う青少年の価値観の醸成や研修の場として活用させる。 平成25年度で条例廃止。									
	対象 (誰・何を対象に)	けやき広場等利用者									
	事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	施設管理									
	関連事業 (同一目的事業等)										
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
		需用費	千円	2,753	2,589	2,267	2,243				
		委託料	千円	690	674	1,025	934				
		役務費	千円	209	240	307	155				
		使用料及び賃借料	千円	15	235	107	0				
		備品購入費	千円	0	21	18	0				
		報酬	千円	0	0	0	296				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	82					
	小計	千円	3,667	3,759	3,724	3,710					
	B	人件費	千円	0	1,385	1,350	4,400				
	総事業費(A+B)	千円	3,667	5,144	5,074	8,110					
	財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
府支出金		千円	0	0	0	0					
国・府支出金 コメント											
地方債		千円	0	0	0	0					
その他特財		千円	14	5	91	103					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	3,653	5,139	4,983	8,007						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000069	三岳青少年山の家管理運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	71	青少年の健全育成				担当課	生涯学習課			
基本方針	02	健全育成活動を促進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
610109	三岳山の家管理事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
610110	三岳青少年山の家管理運営事業(経常予算分)		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
610103	三岳青少年山の家改修事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			豊かな自然環境の中で青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とした施設の設置目的を達成するため、適正な維持管理に努める。 H27年3月末で閉館及び条例の廃止							
対象 (誰・何を対象に)										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			施設の維持管理							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	A	委託料	千円 234	1,238	922	623
		需用費	千円 277	561	274	562
		役務費	千円 40	41	59	36
		報酬	千円 0	0	0	0
		給料	千円 0	0	0	0
		職員手当等	千円 0	0	0	0
		共済費	千円 0	0	0	0
		災害補償費	千円 0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	241	198
	小計	千円 551	1,840	1,496	1,419	
B	人件費	千円 0	1,200	1,200	400	
総事業費(A+B)		千円 551	3,040	2,696	1,819	
財源内訳	国支出金	千円 0	0	0	0	
	府支出金	千円 0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円 0	0	0	0	
	その他特財	千円 8	8	8	8	
地方債・その他特財 コメント						
一般財源		千円 543	3,032	2,688	1,811	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000069 三岳青少年山の家管理運営事業											
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度						
		目標											
									実績				
		目標											
									実績				
		目標											
									実績				
	単位コスト												
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度							
	通年利用者数	目標	人	0	0	5,000	5,000						
		実績				2,598	2,905						
	目標												
								実績					
	目標												
								実績					

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 (市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)		施設の維持管理のみ				
事業の有効性 (上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)		施設の維持管理のみ				
事業の効率性 (有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)		施設の維持管理のみ				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 平成27年3月末で閉館となった。地元と今後活用を検討する。利活用が決定するまで、施設の適正な維持管理を行う。				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x				x
	縮小	x	○	x	x	
	休廃止		x	x	x	
	皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000074	社会教育委員会議運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	社会教育法								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630232	社会教育委員会議運営事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業	府補助事業	市単独事業					
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		今日的な課題等の調査研究をふまえ、社会教育に関する答申や提言を教育委員会に対し行う。							
対象 (誰・何を対象に)		市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		社会教育委員会議の開催 中丹・京都・近畿等の連絡協議会の研修会等に参加							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	768	736	616	784
	旅費	千円	40	66	29	0
	負担金補助及び交付金	千円	39	41	35	34
	需用費	千円	10	21	6	18
	使用料及び賃借料	千円	11	7	3	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	54
小計	千円	868	871	689	890	
B	人件費	千円	0	2,769	2,727	1,200
総事業費(A+B)		千円	868	3,640	3,416	2,090
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	868	3,640	3,416	2,090	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000074 社会教育委員会議運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	会議開催回数	目標	回	6	6	6	12
		実績		9	6	14	
		単位コスト		404.444	569.333	149.286	
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
出席者の延人数	目標	人	42	42	42	84	
	実績		57	36	75		
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		社会教育法に基づく設置であり、教育委員会に答申や提言をする機関として必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市の生涯教育のあり方について、積極的に論議を行っている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		委員定数は10人以内と定めている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 社会教育委員の委嘱にあたっては、社会教育に関心と熱意のある人材の確保が必要である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000076	婦人教育事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進		担当課	生涯学習課				
基本方針	01	生涯学習を充実する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630235	婦人教育事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先: 福知山市連合婦人会)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		婦人会活動を通して地域の絆を高め、地域力再生の要となるような実践活動を進め、活力ある地域社会づくりを目指す。							
対象 (誰・何を対象に)		各地域住民 婦人会会員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山市連合婦人会を通じた研修(生涯学習講座)支援 平成27年度活動実績 ・母の日大会開催 ・ブロック別リーダー研修会 120人参加 (5月～12月実施) ・生涯学習講座 延べ274人参加 (7月～2月実施) ・婦人会スポーツ大会 55人 ・京都女性の健康フェスティバル参加 36人 ・各種京都府連行事、研修会等参加							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	335	335	335	335
		委託料	千円	33	40	37	29
		需用費	千円	19	13	12	15
		旅費	千円	6	3	2	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	12	4
	小計	千円	393	391	398	383	
	B	人件費	千円	0	685	609	750
	総事業費(A+B)	千円	393	1,076	1,007	1,133	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	393	1,076	1,007	1,133	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000076 婦人教育事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動回数	目標	回	8	8	8	8
		実績		9	8	9	
		単位コスト		119.556	125.875	125.889	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	500	500	1,500	1,500
		実績		912	554	863	
		単位コスト					
	成果実績	目標					
		実績					
単位コスト							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		女性の生涯学習及び人権研修の支援として必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域に根ざした学習を進め、男女共同参画社会の構築と地域力再生の要となる人材の育成に寄与している。 会員の高齢化により、会員数は減少傾向にある。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		自己負担(会費・参加費等)しながら活動してもらっている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 地域に根ざした具体的な実践活動、介護や環境、学習や地域力再生につながるボランティア活動を実践している。また、防災活動や国際交流さらに食育活動にも熱心に取り組んでいる。市内の女性を代表する団体として活発な活動を期待している。 会員の高齢化、会員の減少が課題である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000077	P T A 連絡協議会共催事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	生涯学習課				
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
630237	PTA連絡協議会共催事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			各小・中学校の単位P T Aとの連携を深め、情報交換、研修や学習等を通して、会員の資質を高めるとともに、子どもたちのかけがえのない大切な命と豊かな心を守り育て、誰もが安心・安全に生活できる地域をつくる。また、各市立幼稚園P T Aとの連携を深め、情報交換、研修や学習等を通して会員の資質を高めるとともに、子育て支援とともに子どもたちの豊かな心を守り育てる。							
対象 (誰・何を対象に)			福知山市各小・中学校P T A会員(保護者)、福知山市立幼稚園P T A会員(保護者)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			小・中P組織：小学校21単位P T A/中学校8単位P T A/夜久野学園 平成27年度活動内容(小・中P) 中丹地区P T A指導者研修会/家庭教育部視察研修(学校給食センター視察研修・防災センター救命講習受講)/京都府P T A指導者中央研修/日本P T A全国研究大会/京都府P T A研究大会/近畿ブロックP T A研究大会/市P人権教育研修/インディアカ大会 平成27年度活動実績(幼P) 幼稚園P T A幹部研修会/中丹地域P T A指導者研修会/京都府公立幼稚園P T A北部会場研修会/市P人権教育研修会/幼稚園P T A幹部研修会							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	A	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
			負担金補助及び交付金	千円	104	34	56	74
			委託料	千円	38	28	35	32
			需用費	千円	12	10	12	15
			使用料及び賃借料	千円	9	10	2	0
			旅費	千円	2	2	1	0
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	3
			小計	千円	165	84	106	124
			B	人件費	千円	0	1,100	1,100
総事業費(A+B)	千円	165	1,184	1,206	949			
財源内訳	A	国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	0	0	0	0	
		国・府支出金コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント								
一般財源	千円	165	1,184	1,206	949			

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000077 P T A 連絡協議会共催事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	小・中P事業 開催回数	目標	回	16	16	16	16
		実績			16	10	8
		単位コスト		回		56.381	80.400
	幼P事業開催 回数	目標			6	6	6
		実績			5	5	7
		単位コスト			56.381	80.400	63.267
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
小・中P参加 者数	目標	人	1,700	1,700	1,700	1,700	
	実績			1,600	1,308	918	
幼P参加者数	目標	人		103	103	103	
	実績			80	62	106	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		各P T A活動を交流しあい指導者の力量を高めることは、各保護者としての成長のためには必要である。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各研修等を実施し、子どもを取り巻く今日的課題の解決に努めている。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		受益者負担として各単位P T Aから負担金を徴収している。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 各種の研修を積極的に開催し会員相互の研修交流を深め、保護者としての「教育」に対する意欲と資質を高めていただいている。今後も、「家族だんらんの日」の普及等を通して、地域・家庭をあげての教育力の向上につながるような取組みを進めていきたい。				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x			x	
	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
		皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000079	教育文化会館管理運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進		担当課	生涯学習課				
基本方針	01	生涯学習を充実する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630261	教育文化会館管理運営事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		教育文化会館の管理運営を行い、市民の利用に供し、生涯学習の推進と地域の活性化を推進する。市民の生涯学習の推進と地域の活性化を図るため、市民の利用に供する。							
対象 (誰・何を対象に)		市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		教育文化会館の管理運営							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	116	1,417	1,719	1,685
		使用料及び賃借料	千円	917	419	0	0
		委託料	千円	71	70	70	68
		役務費	千円	11	20	26	19
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	15
	小計	千円	1,115	1,926	1,815	1,787	
	B	人件費	千円	0	738	981	800
	総事業費(A+B)	千円	1,115	2,664	2,796	2,587	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	175	167	193	180	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	940	2,497	2,603	2,407	

計画事業評価表

計画事業		000079 教育文化会館管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	会館・グラウンド・センター利用者数	目標	人	8,000	8,000	8,000	8,000
		実績			11,679	12,930	9,353
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		隣接する夜久野町生涯学習センターの利用により利用者のほとんどは、グラウンドのみの利用となっている。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		利用者の減少により、事業の有効性は低くなっている。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		管理運営は、隣接する夜久野町生涯学習センターで一元的に行っている。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 教育文化会館は有償利用がないため、条例廃止を検討する。 グラウンド、文化コミュニティセンターは活用方法を検討する。				
成果の方向性	拡充	×				
	維持	×				×
成果の方向性	縮小	×	○	×	×	×
	休廃止		×	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000080	和久市公園管理事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	教育委員会	
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	生涯学習課	
基本方針	01	生涯学習を充実する				新規継続区分	継続事業	
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業	
施策						自由区分3	棚卸し未実施	
根拠法令	なし							
構成予算事業			会計	款	項	目		
650361	和久市公園管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01 社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業		
		直接実施						
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 和久市自治会)						
		補助金 (補助先:)						
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		施設利用者の安全性・利便性を確保する。						
対象 (誰・何を対象に)		市民						
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		和久市公園の管理運営						
関連事業 (同一目的事業等)								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	96	96	96	96
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	10	0	115	34
小計	千円	106	96	211	130	
B	人件費	千円	0	554	1,636	560
総事業費(A+B)		千円	106	650	1,847	690
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	1	2	0	0
一般財源	千円	105	648	1,847	690	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000080 和久市公園管理事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標					
		実績					
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		公園利用者の安全性と利便性を常に確保することは必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		日常の清掃・除草管理を地元自治体に委託しており、地域の公園として愛護していただいている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		職員のできる範囲の維持管理は実施して経費の節減に努めている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 地域の公園として地元で愛護してもらえるよう、地元自治会と連携して管理していきたい。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000081	生涯学習推進啓発事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630256	生涯学習推進啓発事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		生涯学習事業を広く市民に周知し、教育委員会が掲げる「教育のまち福知山」の具現化にむけた取組みを啓発する。							
対象 (誰・何を対象に)		市民・関係団体・関係機関・職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山市教育の重点 1,300部作成 社会教育事業のまとめ 180部作成							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	323	199	294	172
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	323	199	294	172
B	人件費	千円	0	554	1,636	1,200
総事業費(A+B)		千円	323	753	1,930	1,372
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源		千円	323	753	1,930	1,372

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000081 生涯学習推進啓発事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	啓発資料作成部数	目標			1480		
		実績			1480		
		単位コスト			0.5088		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	成果指標名	目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		年度毎の計画や実績をまとめることは必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各事業の内容や目標、事業実績をわかりやすく体系的にまとめることで、事業に携わる者の認識が統一できるほか、関係機関への啓発・周知する際に活用でき有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		計画・目標と実績まとめを各1部ずつ作成し、作成部数は必要最低限にとどめている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 簡単・明瞭に編集、作成することでコストを抑えながら継続していく。まとめは統計として今後の利用に供することを重点において作成を進める。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000082	生涯学習一般管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
630240	生涯学習一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		生涯学習課の事務を円滑に行う。							
対象 (誰・何を対象に)		事務職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		事務用品の購入や維持管理等							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	512	600	460	657
		役務費	千円	397	575	374	135
		使用料及び賃借料	千円	519	426	404	0
		旅費	千円	29	20	44	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	564
	小計	千円	1,457	1,621	1,282	1,356	
	B	人件費	千円	0	2,585	3,818	2,400
総事業費(A+B)		千円	1,457	4,206	5,100	3,756	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	1	0	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源		千円	1,457	4,206	5,099	3,756	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		生涯学習一般管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動実績	目標					
			実績				
				単位コスト			
		目標					
			実績				
				単位コスト			
	目標						
		実績					
			単位コスト				
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	目標					
実績							
			単位コスト				
目標							
		実績					
			単位コスト				
目標							
	実績						
		単位コスト					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		課内の事務用品等を一元的に管理することは必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		課内の事務用品等を計画的に購入・在庫管理できる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		一括して発注することで、在庫管理と安価な物品調達に努める。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 計画的な調達と在庫管理で、無駄な購入の無いように努めていく。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

計画事業	000106	生涯学習研修事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進		担当課	生涯学習課			
基本方針	01	生涯学習を充実する		新規継続区分	継続事業			
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業			
施策				自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律							
構成予算事業			会計	款	項	目		
630239	生涯学習研修事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01 社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業		
実施方法		直接実施						
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者 :)						
実施方法		補助金 (補助先 :)						
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	生涯学習課の職員が、人権研修の指導者として実践力を養う。また、様々な人権問題の講師発掘や視察研修先の調査を行う。							
対象 (誰・何を対象に)	職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	人権問題に関する研修会や説明会に参加し、認識を深め人権研修の指導助言ができるとともに、人権講座や人権研修の企画立案ができる実践力を養う。							
関連事業 (同一目的事業等)								

コスト	A	旅費	千円	平成28年度	161	平成27年度	163	平成26年度	89	平成25年度	0
		負担金補助及び交付金	千円		30		23		10		0
		需用費	千円		0		4		0		0
		報酬	千円		0		0		0		0
		給料	千円		0		0		0		0
		職員手当等	千円		0		0		0		0
		共済費	千円		0		0		0		0
		災害補償費	千円		0		0		0		0
		恩給及び退職年金	千円		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		87
		小計	千円		191		190		99		87
	B	人件費	千円		0		0		0		0
		総事業費(A+B)	千円		191		190		99		87
財源内訳		国支出金	千円		0		0		0		0
		府支出金	千円		0		0		0		0
		国・府支出金コメント									
		地方債	千円		0		0		0		0
		その他特財	千円		0		0		0		0
		地方債・その他特財コメント									
		一般財源	千円		191		190		99		87

計画事業評価表

計画事業						
000106	生涯学習研修事業					
活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	目標					
		実績				
			単位コスト			
	目標					
		実績				
			単位コスト			
	目標					
		実績				
単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	目標					
		実績				
			単位コスト			
	目標					
		実績				
			単位コスト			
	目標					
		実績				
単位コスト						

事項	担当課評価																																	
<p style="text-align: center;">事業の妥当性・必要性</p> <p>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</p>	指導者養成講座、巡回講座事前学習会の講師として職務を遂行するにあたり、実践力を培う研修が必要である。																																	
<p style="text-align: center;">事業の有効性</p> <p>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</p>	人権講座や教育集会所学習開催にあたるため、企画力を高め、市民ニーズに応える学習会、研修会を今後も進める。																																	
<p style="text-align: center;">事業の効率性</p> <p>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</p>	地域の実態を把握することに努め、教育集会所や公民館等が開催する人権教育事業において市民が主体となり、「共に幸せを生きる」、市民が交流でき、学習、研修できる人材育成を図る。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
<p style="text-align: center;">事務事業の方向性の組み合わせ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						<p style="text-align: center;">A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</p>
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×	○		×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

計画事業	000973 地域で支える「地域未来塾」開講事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	生涯学習課				
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	新規事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	H28棚卸し(非公開)				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
630210	地域で支える「地域未来塾」開講事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			学習が遅れがちな中学生に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着、義務教育終了時に必要な学力、高等学校等進学後に必要な学力の獲得を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			学習習慣を十分に身につけさせたい中学校3年生の生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			平成27年度 桃映中学校で実施 実施体制: 「心の教育」実践活動中央本部学校支援部会、「心の教育」実践活動桃映ブロック実行委員会未来塾部会 開講期間: 平成27年9月25日～平成28年2月26日 週2回(水、金) 各1時間 実施教科: 数学・英語 在籍人数: 14人 出席率: 77.6% 開講日数: 32日 指導員数: 指導員4人、支援員7人							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	報償費	千円	平成28年度	2,649	平成27年度	1,010	平成26年度	0	平成25年度	0
		需用費	千円	636	172	0	0				
		役務費	千円	0	19	0	0				
		旅費	千円	0	9	0	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0				
		小計	千円	3,285	1,210	0	0				
		B	人件費	千円	0	1,385	0	0			
総事業費(A+B)	千円	3,285	2,595	0	0						
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	2,190	796	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	1,095	1,799	0	0						

計画事業評価表

計画事業		000973 地域で支える「地域未来塾」開講事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開講する日数	目標	日	96	32		
		実績			32		
		単位コスト			80.0934		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	出席率	目標	%	100	100		
実績				77.6			
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生は、全国的にも大きな問題となっており、その中学生に対し、学習支援を行う必要性は高い。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		H27年度は、モデル事業として桃映中学校で実施した。生徒の出席率も高く、一定、学習習慣の定着と学習意欲が高まった。また、学習を通して学校とは異なる指導員・支援員との良好な関係づくりができたことにより、生徒が安心して過ごすことのできる居場所が確保できた。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国庫補助制度を活用し、事業実施している。学校・地域・行政との連携を図り、計画的に事業実施するため、コーディネーターを中心に進めている。また、授業実施場所は、公共施設を利用することでコスト削減を図っている。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 平成27年度は、モデル事業として桃映中学校で実施。教員OBや大学生など地域住民の協力による学習支援を実施し、生徒が地域の一員として地域全体で育てられているという実感を感じたと評価する。出席生徒は時間中集中して学習に取り組むことができた。 平成28年度は、桃映、成和、六人部中学校で実施予定している。 平成29年度以降の拡充学区の選定とボランティア指導員の登録・確保が課題である。				
成果の方向性	拡充 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>					
	維持 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ×					
	縮小 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×					
	休廃止 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×					
皆減 縮小 維持 拡充		コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000974 近畿ブロックユネスコ活動研究会in福知山支援事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	生涯学習課				
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	新規事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
630207	近畿ブロックユネスコ活動研究会支援事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 : 福知山ユネスコ協会)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			UNESCO創設70周年記念2015近畿ブロックユネスコ活動研究会in福知山の開催を支援し、福知山ユネスコ活動とESDの普及による子どもたちの未来を拓く活動を紹介する場とする。							
対 象 (誰・何を対象に)			市民、関係団体							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山ユネスコ協会への補助 (近畿ブロックユネスコ活動研究会in福知山の運営にかかる補助)							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	0	150	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		A 災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	0	150	0	0
		B 人件費	千円	0	554	0	0
総事業費(A+B)	千円	0	704	0	0		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	0	704	0	0		

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000974 近畿ブロックユネスコ活動研究会in福知山支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開催回数	目標			1		
		実績			1		
		単位コスト			704.000		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
参加者数	目標			300			
	実績			250			
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		2015近畿ブロックユネスコ活動研究会が福知山で開催されるにあたり、福知山の歴史や文化、取組を近畿圏内の方や福知山市民に紹介することができる大きな機会の場に対し、一定の支援は必要である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域文化伝承活動や生活の場で根気強く取り組まれる活動を市民に紹介することで生涯学習推進が図れる。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		平成27年度単年度事業																																	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 今年度は、近畿ブロックユネスコ活動研究会として福知山市で開催され、福知山の歴史(明智光秀)や文化(うぶやの里)の取組発表などされ、大会に参加された近畿圏内のユネスコ協会会員や一般参加など多くの方に紹介され、広く宣伝できた。また、「地域に根ざしたユネスコ運動とESDの更なる推進を求めて」をテーマとともに学びあい、ユネスコ精神とESDの意義を再確認した。 平成27年度単年度事業																																	
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 皆減 </td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> コスト投入の方向性 </td> </tr> </table>	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×	皆減		縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性								
	拡充	×																																	
維持	×			×																															
縮小	×		×	×																															
休廃止	○	×	×	×																															
皆減		縮小	維持	拡大																															
コスト投入の方向性																																			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000078	夜久野町生涯学習センター事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	生涯学習課			
基本方針	03	生涯学習施設を整備・充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
630234	夜久野町生涯学習センター事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費	
630260	夜久野町生涯学習センター改修事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		夜久野ふれあいプラザのうち、生涯学習センター機能の部分の管理運営を行い、市民の利用に供し、生涯学習の推進と地域の活性化を推進する。市民の生涯学習の推進と地域の活性化を図るため、市民の利用に供する。								
対象 (誰・何を対象に)		市民								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		夜久野ふれあいプラザの管理運営								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	4,717	4,718	4,625	3,724
		賃金	千円	2,816	3,088	3,096	0
		委託料	千円	3,059	2,788	2,703	2,630
		役員費	千円	261	353	210	212
		使用料及び賃借料	千円	39	91	84	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	124	2,379
	小計	千円	10,892	11,038	10,842	8,945	
	B	人件費	千円	0	1,200	1,090	1,200
	総事業費(A+B)	千円	10,892	12,238	11,932	10,145	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	1,238	1,140	1,145	895	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	9,654	11,098	10,787	9,250	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000078 夜久野町生涯学習センター事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	利用人数	目標	人	16,000	16,000	16,000	16,000
		実績		17,851	16,893	14,599	
	目標						
		実績					
	目標						
		実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		生涯学習の地域拠点として活用を図る必要がある。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市北部の生涯学習拠点として利用者が年々増加している。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		設備の管理委託等は長期継続契約にして、コストの削減に努めている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 維持管理経費は、機器の修繕や消耗部材の交換等のメンテナンス費用が増加しており、計画的な保守管理によるコスト削減が課題である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000085	文化財保護事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市文化財に関する条例								
構成予算事業			会計	款	項	目			
640101	文化財保護事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		福知山市に遺された貴重な文化遺産を後世へと伝えるため、文化財保護審議会の指導・助言を得て文化財の指定等を行い、また適切な保護・保全のための行政指導を行う。							
対象 (誰・何を対象に)		市民、文化財所有者 市内に遺存する歴史資料、文化遺産							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 年度内3回実施 両丹文化財保護連絡協議会 文化財の指定及び調査 							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報酬	千円	192	200	208	192
		旅費	千円	117	190	185	0
		報償費	千円	40	40	0	0
		需用費	千円	20	3	23	10
		役務費	千円	1	2	17	20
		負担金補助及び 交付金	千円	10	1	7	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	56	0	0	77
	小計	千円	436	436	440	299	
	B	人件費	千円	2,097	2,097	1,995	1,195
	総事業費(A+B)	千円	2,533	2,533	2,435	1,494	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	2,533	2,533	2,435	1,494	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000085	文化財保護事業				
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	文化財保護審議会	目標	回	3	3	3	3
		実績			3	2	3
		単位コスト	千円/回		844.333	1217.500	498.000
	文化財の指定調査	目標	件	2	2	2	3
		実績			4	7	3
		単位コスト	千円/件		633.250	347.857	498.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
文化財の指定	目標	件	1	1	3	3	
	実績			1	0	2	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		歴史、文化を次世代へと継承するためには文化財の保護・保全は不可欠である。しかしながらこの意義は地域や世代等によって異なり、平均的な市民ニーズとして捉えにくい。行政としてリードして推進する必要がある。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域への愛着や郷土愛を育む対象として、比較的わかりやすいものになり得る。弾力性のある保護により、地域振興、観光資源の活用などへの波及効果が期待できる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		具体的な手法などでは効率化の余地はあるが、費用対効果、効率などと文化財保護の理念は相容れない部分もあるため、注意する必要がある。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 文化財を保護し未来へ伝えていく最も基本的な事業であり、今後も引き続き実施していく。少子過疎高齢化により、急速に文化財が失われていく現状が課題であり、そのためには市内の文化財調査を順次進めていく必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000087	文化財保全事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	74	文化財の保存・活用		担当課	生涯学習課				
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
640103	文化財保全事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先: 文化財保全事業実施者)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		国、府、市指定文化財の保全・保護。未指定文化財、文化資料の保全・保護を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		市民、文化財所有者 市内国・府・市指定文化財、未指定文化財資料(条件有)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		所有者の実施する文化財、文化資料等の修理・保全を意図する事業について、福知山市文化財補助金要項に従って、補助金を支給する。 ・福知山市文化財保護に関する条例 ・福知山市文化財保全事業補助金交付要綱 ・福知山市補助金交付規則 等に基づく補助金支給 平成27年度は国指定1件、府指定9件、府登録1件、市指定文化財1件の12件の文化財保全事業に対して補助した。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	1,265	1,090	1,958	2,395
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,265	1,090	1,958	2,395
	人件費	千円	1,408	1,408	1,777	575
	総事業費(A+B)	千円	2,673	2,498	3,735	2,970
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	2,673	2,498	3,735	2,970

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000087	文化財保全事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		文化財・文化資料の修理保全相談件数	目標	件	10	10	10	10
			実績			9	15	4
			単位コスト		千円/件		277.555	249.000
			目標					
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		文化財・文化資料の修理保全件数	目標	件	11	15	12	12
			実績			12	12	16
			目標					
		実績						
目標								
実績								

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		少子高齢化・過疎化が進む昨今では、貴重な文化財の保全保護はままならない状況を迎えている。そういった中で、後世に貴重な文化財を伝えるため、国・府とともに保全補助事業を行うことは、意義のあることである。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		貴重な文化財を後世へ伝えることは地域資源として次世代への投資ともなって補助事業としては有効である。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		貴重な文化財を後世へ伝えることは地域資源として次世代への投資ともなって補助事業としては有効である。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%;"></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 補助事業の実施により貴重な文化財を保護し未来へと伝えることができ、今後も継続して実施していく。課題は、未指定文化財への対応について検討をしていくことである。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×			×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000088	化石郷土資料館管理運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課				
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	夜久野町化石・郷土資料館条例									
構成予算事業			会計	款	項	目				
640105	夜久野町化石・郷土資料館運営事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			市民共有の財産である文化財の適切な保管。 文化財、文化資料の収集、研究。 文化財保護、愛護の普及啓発。 地域学習のための生涯学習資料の提示							
対象 (誰・何を対象に)			市民、歴史学習希望者、地域学習利用者 文化財、文化資料							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			管理運営費 夜久野町化石・郷土資料館の入館受付、管理運営。							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	1,166	1,118	1,134	0
		需用費	千円	128	216	208	246
		委託料	千円	53	87	27	26
		役務費	千円	83	61	63	71
		負担金補助及び交付金	千円	117	12	117	114
		使用料及び賃借料	千円	0	10	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,040
	小計	千円	1,547	1,504	1,549	1,497	
	B	人件費	千円	1,250	1,250	2,450	1,600
	総事業費(A+B)	千円	2,797	2,754	3,999	3,097	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	57	44	50	0	
	一般財源	千円	2,740	2,710	3,949	3,097	

計画事業評価表

計画事業		000088 化石郷土資料館管理運営事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	資料館の活用、PR(体験学習会)	目標	回	2	2	2	2
			実績			1	0	0
			単位コスト	千円/回		2754.000		
		資料館の活用、PR(企画展示の開催)	目標	回	1	1	1	1
			実績			0	0	0
			単位コスト					
		目標						
		実績						
		単位コスト						
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
成果実績	入館者数	目標	人	1000	1000	1000	1000	
		実績			715	631	975	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		ニーズが高いとは言えないが、化石という地域資源を活かした施設として特徴はある。しかしながら、博物館施設、また教育施設として、現状では営利目的の施設とするのは困難				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		適正な管理を行い、活用しやすくすることで、有効な観光資源となり得るポテンシャルがある。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		活用の拡大によっては、効率化もはかれるが、効率性を上げるには、施設の目的や役割の全面的な見直しが必要。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 施設の老朽化が著しく、展示及び収蔵資料の保管について検討していく必要がある。				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x	○			x
	縮小	x		x		x
	休廃止		x	x		x
	皆減	縮小	維持	拡大		
	コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000090	日本の鬼の交流博物館管理運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市日本の鬼の交流博物館条例								
構成予算事業			会計	款	項	目			
640106	日本の鬼の交流博物館運営事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		鬼にまつわる歴史的文化遺産の正しい保存と公開、並びに「文化」と「交流」の創造拠点、文化情報発信拠点としての施設運営。 有形・無形文化財の保護・保全、資料収集と民俗文化財の歴史的研究。 資料の収集と保存。							
対象 (誰・何を対象に)		市民、全国の民俗文化財学習希望者、生涯、歴史学習希望者 文化財、文化資料							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		来館者への案内、便益供与 ・特別展開催 平成27年度は、春季「福知山地方の庚申塔」、夏季「鬼の交流美術展」、秋季「大江山の佛性寺」展を開催した。 また、夏季体験事業として親子で「鬼のおめんづくり」を行うワークショップを開催し、子どもから大人までが楽しめる鬼の交流博物館の新たな魅力を市民に知らせる機会を得た。 ・鬼の交流博物館ホームページを随時更新した。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	4,091	4,513	4,273	4,175
		委託料	千円	1,362	1,086	1,185	1,377
		使用料及び賃借料	千円	341	340	324	0
		役務費	千円	113	109	98	174
		備品購入費	千円	24	45	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	300	0	0	296
	小計	千円	6,231	6,093	5,880	6,022	
	B	人件費	千円	6,331	6,331	7,668	7,255
	総事業費(A+B)	千円	12,562	12,424	13,548	13,277	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	2,748	2,269	2,293	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	9,814	10,155	11,255	13,277	

計画事業評価表

計画事業		000090 日本の鬼の交流博物館管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	特別(企画)展の開催	目標	回	3	3	3	3
		実績		4	5	5	
		単位コスト		千円/回	3106.000	2709.600	2655.400
	解説、ボランティア養成	目標	人	1	1	2	2
		実績		0	0	0	
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	入館者数	目標	10000	10000	12,000	12,000	
		実績		7931	7590	7,822	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山の地域資源である「鬼」をテーマに館を運営。全国的に見ても珍しい施設であり、報道関係等の取材も多く、福知山市のPR効果は大きい。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		マスコミ等からの問合せや紹介は例年どおりであるが、災害等の発生により入館者数は減少傾向であり、入館者の増につながる企画等が必要である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		光熱水費におけるコスト削減を図っているが、施設の老朽化も否めない点があり、施設改修等の維持管理費が必要となる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 福知山の鬼文化発信拠点であり、引き続き事業は継続する。京都縦貫道の全線開通による交通アクセスのPRを必要とする。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000093	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助)								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課				
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
640125	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			<ul style="list-style-type: none"> ・市民(国民)の貴重な歴史的財産である埋蔵文化財を開発事業から保護するため、事前の確認調査を実施する。 ・出土品を歴史資料として後世に伝える。保存科学処理を行い。適切な維持管理を行う。 							
対象 (誰・何を対象に)			市民 歴史学習希望者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>今後の開発等に係わる協議資料を得るための範囲内容確認調査を行う。確認された遺構・遺物について考古学的考察を加えながら歴史的な評価を保存する。</p> <p>市内遺跡の詳細内容確認調査として国庫補助を受け、昨年8月豪雨による被害の著しい猪崎城跡について発掘調査を実施し、今後の災害へ対応するための資料を得ることができた。</p> <p>出土品の内、保存が難しい金属製品を保存科学処理によって保護し、適切な維持管理を行った。</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	A	委託料	千円	平成28年度	1,517	平成27年度	1,721	平成26年度	2,401	平成25年度	1,354
		使用料及び賃借料	千円	160	162	227	0				
		賃金	千円	58	100	115	0				
		需用費	千円	230	40	270	1,180				
		旅費	千円	27	14	7	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	1	0	0	0				
		その他	千円	7	0	0	565				
小計		千円	2,000	2,037	3,020	3,099					
B	人件費	千円	2,475	2,475	3,382	2,080					
総事業費(A+B)		千円	4,475	4,512	6,402	5,179					
財源内訳	国支出金	千円	1,000	1,000	1,500	0					
	府支出金	千円	500	500	750	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財コメント											
一般財源		千円	2,975	3,012	4,152	5,179					

計画事業評価表

計画事業		000093 市内遺跡発掘調査事業(国庫補助)					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	発掘調査	目標	件	1	1	1	1
		実績			1	1	1
		単位コスト	千円/件		4512.000	6402.000	5179.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			埋葬文化財の状況把握	件	1	1	1
		目標					
		実績		1	1		
		目標					
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		将来的に開発が計画される地域の埋蔵文化財の状況(範囲・性格)を事前に把握することによって、今後の事前協議をスムーズに且つ埋蔵文化財の保護に寄与することができる。保存の困難な金属製の出土品を将来に渡って保存・伝承することができる。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		事前調査による状況把握により、埋蔵文化財の保護手法を検討することができる。出土品の保護措置を行うことで生涯学習教材として活用することができる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		国庫補助事業に採択されることによって、全体経費の75パーセントが補助対象となる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 埋蔵文化財の保護と開発の調整については、常に試掘調査等により最新の遺跡状況を把握しておく必要があり、今後も事業は継続していくが、急な開発行為等への緊急発掘の実施について対応できる体制づくりが課題である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小		x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000098	日本の鬼の交流博物館設備改修事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課				
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
640208	日本の鬼の交流博物館設備改修事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法			国庫補助事業	府補助事業	市単独事業					
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			鬼の交流博物館施設の改修・整備 開館から22年が経過し、館施設の老朽化が進んでいる。 小修繕で持ちこたえているが、経年劣化は防ぐことができず、各種財源を確保して各施設、機器の更新を行う							
対象 (誰・何を対象に)			市民 文化財所有者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			平成27年度 ・屋外舞台改修 ・受電用キュービクル等電気設備修繕 ・展示室壁紙張替							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	工事請負費	千円	平成28年度	0	平成27年度	2,096	平成26年度	0	平成25年度	0
		需用費	千円	0	1,307	0	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		賃金	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	12,709				
		小計	千円	0	3,403	0	12,709				
		人件費	千円	0	647	0	1,100				
		総事業費(A+B)	千円	0	4,050	0	13,809				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	1,701	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	1,701	0	12,709					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	0	648	0	1,100						

計画事業評価表

計画事業		000098 日本の鬼の交流博物館設備改修事業						
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
		空調機器の更新	目標	件				
			実績					
	単位コスト							
	機器の更新	目標	件		1	1	1	
		実績			1		1	
		単位コスト			4050.000		13809.000	
		目標						
		実績						
		単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
							目標	
	実績							
	目標							
	実績							
	目標							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		老朽化が進んだ機器を更新することで、来館者、利用者による利用環境を改善することができた。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本年度予算として、更新を目的としており、無事に完了したため成果は十分である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		適切な財源(地域振興施設維持補修基金・みらい戦略一括交付金)を活用して更新を行うことができた。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 老朽化が進んではいるが、鬼文化情報の大切な発信拠点であり、今後も必要に応じて設備の改修を行っていく必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000982	三和町郷土資料館再整備事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
640102	三和町郷土資料館再整備事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		夜久野町教育文化会館等に保管してある古文書や文献資料を三和町郷土資料館へ移動させるとともに、適切な保管管理を行うため書棚等の設置を行い整備する。							
対象 (誰・何を対象に)		国民共有の財産である文化財資料を対象とする。							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		三和町郷土資料館内に資料を適切に保管するため書棚等の設置を行い、夜久野町教育文化会館内の資料を移動し再整理を行う。							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	備品購入費	千円	平成28年度	0	平成27年度	859	平成26年度	0	平成25年度	0
		委託料	千円	0	132	0	0	0			
		役務費	千円	0	8	0	0	0			
		報酬	千円	0	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0	0			
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0	0			
		小計	千円	0	999	0	0	0			
		B 人件費	千円	0	939	0	0	0			
		総事業費(A+B)	千円	0	1,938	0	0	0			
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0					
一般財源	千円	0	1,938	0	0	0					

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000982 三和町郷土資料館再整備事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	統合施設数	目標	件		1		
		実績			1		
		単位コスト	千円/件		1938.000		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	統合施設数	目標	件		1		
実績				1			
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		<ul style="list-style-type: none"> 文化財資料の適切な保管管理ができる。 管理施設を減らすことができ、コストダウンがはかれる。 																																			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		<ul style="list-style-type: none"> 適切な保管管理ができることにより、未来へ文化財資料を伝えることができる。 																																			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		<ul style="list-style-type: none"> これまで分散していた資料を一括管理できるようになった。 																																			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																			
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td rowspan="5">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>皆減</td> <td>○</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×	皆減	○	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 三和町郷土資料館は平成28年3月末で条例を廃止し、文化財資料の収蔵庫として使用を続ける。平成27年度の整備事業により、一定の資料の受け入れ態勢は整えることができた。今後は、資料の収蔵を進めるとともに、資料の活用と保存をはかるため、整理分類を進めていく。			
成果の方向性	拡充		×																																		
	維持		×			×																															
	縮小		×		×	×																															
	休廃止		○	×	×	×																															
	皆減	○	縮小	維持	拡大																																
コスト投入の方向性																																					

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000984 長者森古墳整備事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	樹木伐採古墳数	目標	件		1			
		実績			1			
		単位コスト		千円/件		850.000		
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		樹木伐採古墳数	目標	件		1		
			実績			1		
			目標					
			実績					
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		京都府指定史跡である長者森古墳の保全を図ることができる。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		後世に貴重な文化財を伝え残すことができる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		古墳上の樹木・植栽維持管理費を削減できる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 樹木・植栽の伐採により、倒木などによる古墳の損傷を防ぐことができる。また、根の成長による石室の損壊も防ぐことができ、後世へ貴重な文化財を伝え残すことができる。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×		×	×
	休廃止	○	×	×	×
	皆減	○	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

計画事業	000986	文化財保管倉庫移転事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課			
基本方針	01	文化財を適切に保存し活用する			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
640134	文化財保管倉庫移転事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		当初は老朽化した文化財保管倉庫に保管してある埋蔵文化財資料を河東保育園跡に移転する予定であったが、大江支所内の改修により、先に大江支所内に保管してあった文化財資料を三和町郷土資料館へ移した。							
対象 (誰・何を対象に)		文化財関係冊子・資料							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		業者委託による移転作業							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	委託料	千円	平成28年度	0	平成27年度	427	平成26年度	0	平成25年度	0
		報酬	千円	0	0	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	0	0		
		賃金	千円	0	0	0	0	0	0		
		報償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	小計	千円	0	0	427	0	0	0			
	B 人件費	千円	0	0	864	0	0	0			
	総事業費(A+B)	千円	0	0	1,291	0	0	0			
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他特財	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債・その他特財コメント										
	一般財源	千円	0	0	1,291	0	0	0			

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000986 文化財保管倉庫移転事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	統合施設数	目標	件		1		
			実績			1		
			単位コスト			1291.000		
			目標					
			実績					
			単位コスト					
	成果実績	統合施設数	目標	件		1		
			実績			1		
			単位コスト					
			目標					
			実績					
単位コスト								

事項		担当課評価																							
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		移転により安全な資料の保管が図れる																							
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		移転により貴重な資料を残すことができる。																							
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		施設数の減によるコストダウンが図れるとともに、資料を一括して管理することができる																							
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																							
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 文化財資料の集約を三和町へ今後も進めるとともに、集約した資料の整理分類を進めていく必要がある。																							
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×				
	拡充	×																							
	維持	×			×																				
縮小	×		×	×																					
休廃止	○	×	×	×																					
<table border="1"> <tr> <td>○皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	○皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性																				
○皆減	縮小	維持	拡大																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000091	文化財整理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	74	文化財の保存・活用		担当課	生涯学習課				
基本方針	02	文化財の保護意識を高める		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
640107	文化財整理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		<ul style="list-style-type: none"> ・保管文化財の適切な維持管理。 ・文化財の整理活用 							
対象 (誰・何を対象に)		市民、歴史学習希望者、文化財所有者 指定文化財等							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<ul style="list-style-type: none"> ・文化財整理事務所の管理運営 多岐にわたる文化財資料の保存・活用を進めるため、整理・分析を行うための施設管理、運営を行った。 ・文化財保管倉庫の管理・運営 出土品等埋蔵文化財の適切な保管と管理を行うための施設の管理・運営を行った。 ・未整理文化資料の整理 出土品等資料の整理を行い、展示及び教材として活用した。 							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	327	272	289	0
		役務費	千円	240	218	267	195
		使用料及び賃借料	千円	457	197	158	0
		需用費	千円	298	192	435	402
		委託料	千円	60	54	54	53
		共済費	千円	1	1	1	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	562
	小計	千円	1,383	934	1,204	1,212	
	B	人件費	千円	974	974	1,434	1,360
		総事業費(A+B)	千円	2,357	1,908	2,638	2,572
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	2	2	2	0	
		地方債・その他特財 コメント					
		一般財源	千円	2,355	1,906	2,636	2,572

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000091 文化財整理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	ミニ企画展示	回	2	2	2	
目標			2			
実績			3	1		
単位コスト	千円/回		636.000	2638.000		
文化財説明看板設置	基	3	3	3	3	
	目標					
実績			4	4	3	
単位コスト	千円/基		477.000	659.500	857.333	
目標						
実績						
単位コスト						
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
資料の保管状況	目標	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
	実績		異常なし	異常なし	異常なし	
目標						
実績						
目標						
実績						

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	文化財を保管する収蔵施設は後世に貴重な文化財を伝えていくにあたり、不可欠なものである。また、整理施設は文化財を効率的に活用していくのに必要である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	文化財、文化資料の劣化、散逸を防ぎ、整理・保管し、将来へ伝えるため、有効である。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	各施設の管理等にかかる、委託契約等は長期継続契約等を行い、効率的に実施している。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 継続的な保管施設及び整理施設の管理により、文化財の保護と活用が図れる。また、普及啓発事業の実施により、郷土への愛着が生まれてくる。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000096 世界鬼学会運営補助事業										
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会				
基本理念	74	文化財の保存・活用				担当課	生涯学習課				
基本方針	02	文化財の保護意識を高める				新規継続区分	継続事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	福知山市補助金交付規則										
	構成予算事業			会計	款	項	目				
640202	世界鬼学会運営補助事業			01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業									
		直接実施									
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
		補助金 (補助先: 世界鬼学会)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	福知山の鬼を市内外にPRし、鬼文化を研究する世界鬼学会に対し、運営補助を行う。										
対象 (誰・何を対象に)	市民、観光来訪者 日本の鬼の交流博物館										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	シンポジウムの開催と会報の作成による鬼文化情報の発信。										
関連事業 (同一目的事業等)											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	648	648	652	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	648	648	652	0
B	人件費	千円	2,560	2,560	2,511	1,480
	総事業費(A+B)	千円	3,208	3,208	3,163	1,480
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	324	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	3,208	2,884	3,163	1,480

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000096 世界鬼学会運営補助事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		鬼文化の研究 情報発信 (シンポジウム 開催)	回	1	1	1
実績			1	0	0	
単位コスト	千円/回		3208.000			
鬼文化の研究 情報発信 (会誌の発行)	回	1	1	1	1	
実績			1	1	0	
単位コスト	千円/回		3208.000	3163.000		
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
シンポジウム 参加者数	人	200	200	200	200	
実績			100	災害により実施せず	災害により実施せず	
目標						
実績						
目標						
実績						

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	全国の鬼好きが集う会である。鬼文化の啓発と普及には欠かすことのできない学会である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	定期的なシンポジウム・会報の発刊については、目標に達しているものと思われる。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	効率的な運営のため、コストダウンや会員への連絡方法についても検討をしている状況である。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 世界鬼学会が全国に向けて鬼情報の発信を行うことは福知山のPRに大いに役立っており、引き続き事業を継続していく。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000100	文化財啓発事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課			
基本方針	02	文化財の保護意識を高める			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
640209	文化財啓発事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		日本の鬼の交流博物館、夜久野町化石・郷土資料館、三和町郷土資料館、大江文化財資料室等の市立文化財関連施設を核に、本市の歴史、文化を市民に啓発するとともに本市の魅力を市内外にPRする。							
対象 (誰・何を対象に)		市民、観光来訪者 各施設収蔵文化資料、借用資料							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<ul style="list-style-type: none"> ・鬼の交流博物館特別展示会(年4回)実施。 ・化石・郷土資料館企画展示、体験学習会 ・図書館ロビーでの文化財資料展示 ・真下飛泉関連常設展示 ・文化財資料の印刷発行 ・市定文化財説明看板の設置 ・収蔵資料保存・活用 <p>・文化財WEBページ(http://www.city.fukuchiyama.kyoto.jp/fukuchiyamaisanWEB)の更新を随時行い、文化財情報の公開に努める。</p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	527	593	450	662
		委託料	千円	684	547	473	203
		使用料及び賃借料	千円	80	97	123	0
		報償費	千円	30	10	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	70	0	55	252
	小計	千円	1,391	1,247	1,101	1,117	
	B	人件費	千円	3,433	3,433	4,147	3,915
	総事業費(A+B)	千円	4,824	4,680	5,248	5,032	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	425	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	4,824	4,255	5,248	5,032	

計画事業評価表

計画事業		000100	文化財啓発事業				
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	鬼の交流博物館活用普及啓発展示、学習会	目標	回	3	3	3	3
		実績			3	6	5
		単位コスト	千円/回		1560.000	874.666	1006.4000
	化石郷土資料館活用普及啓発体験学習会	目標	回	1	1	1	1
		実績			1	災害により実施せず	災害により実施せず
		単位コスト	千円/回		4680.000		
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
鬼博学習会参加者数	人	50	50	50	50		
			60	50	50		
化石学習会参加者数	人	50	50	50	50		
			63	災害により実施せず	災害により実施せず		
	目標						
	実績						

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	文化財の普及啓発事業として取り組んだ事業である。講座については、今年度は派遣要請に基づくものと自主企画によるものがある。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	展示観覧者や講座の受講者からは高い評価を得ているものと思われる。また、地域を見直すきっかけともなるため、他の施策への波及効果はあるものと思われる 指定文化財の説明看板の作成やロビーで文化財の展示などの開催など、一定の成果は挙げている。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	効率的な普及啓発活動を行うため、市民のニーズを把握しつつ事業を展開している。今後も、ニーズの把握は必要である																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 市民に福知山市の歴史を知ってもらう機会として、資料の展示や講座の開催は有効な手段であり、今後も地域資源の紹介や郷土愛を育む事業として継続して実施していく。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000985	埋蔵文化財体験活用事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	74	文化財の保存・活用			担当課	生涯学習課			
基本方針	02	文化財の保護意識を高める			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
640133	埋蔵文化財体験活用事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市内に所在する主要埋蔵文化財について、観光資源、ふるさとの歴史を学ぶ学習資料として活用できるよう説明看板の設置を行う。							
対象 (誰・何を対象に)		市民 埋蔵文化財							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		市内の主要な埋蔵文化財地に説明看板を設置した後、観光振興部局と連携して見学ツアー、学習会を行う。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	0	1,063	0	0
		需用費	千円	0	910	0	0
		使用料及び賃借料	千円	0	44	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	2,017	0	0	
	B	人件費	千円	0	2,219	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	4,236	0	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	1,000	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	0	3,236	0	0	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000985 埋蔵文化財体験活用事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	説明看板設置数	目標	件		20		
		実績			20		
		単位コスト	千円/件		211.800		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人		45		
		実績			26		
		単位コスト					
	成果実績	目標					
		実績					
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市内各地に埋もれた歴史・文化学資料である埋蔵文化財に対し、市民が容易に学べ、郷土愛を高める学習教材として活用できる。																																			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		見学ツアーは市観光ボランティアガイドを対象にしたもので、今後の観光ガイドの幅が広がった。																																			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		観光ガイドが遺跡の学習をすることにより、新たな観光コースの開拓とボランティアガイドの質への向上につながる。																																			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																			
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="5">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>皆減</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×	皆減	○	×	×	×	コスト投入の方向性						D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 説明看板の設置により事業の継続は見込めないが、設置された説明看板をもとに、今後は学習会の開催などに取り組む必要がある。			
成果の方向性	拡充		×																																		
	維持		×			×																															
	縮小		×		×	×																															
	休廃止		○	×	×	×																															
	皆減	○	×	×	×																																
コスト投入の方向性																																					

計画事業評価表

計画事業	000987	「森の京都」鬼伝説マップ作成事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	74	文化財の保存・活用				担当課	生涯学習課			
基本方針	02	文化財の保護意識を高める				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
640212	「森の京都」鬼伝説マップ作成事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
	補助金 (補助先:)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	「森の京都」にかかわり福知山市内の鬼伝説を網羅した紹介マップを作成し、大江山の鬼伝説を全国にPRする。									
対象 (誰・何を対象に)	市民									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	酒呑童子伝説、日子坐王伝説、麻呂子親王伝説の3つの鬼伝説を紹介するとともに、関連史跡をマップ上で紹介する。なお、マップの配布にあたっては市内だけでなく、東京のアンテナショップでも配布し、福知山市をPRする。									
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	A	需用費	千円	0	302	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	
	小計	千円	0	302	0	0	
B	人件費	千円	0	647	0	0	
	総事業費(A+B)	千円	0	949	0	0	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	151	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	798	0	0	

計画事業評価表

計画事業		000987 「森の京都」鬼伝説マップ作成事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	マップ作成印刷	目標	部		10000		
		実績			10000		
		単位コスト			0.094		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	マップの効果的な配布	目標			各観光施設への配布		
実績				内容は好評 問合せ多い			
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		近年、鬼伝説関連の史跡等が地域の中で地域活性化の資源として活用され、注目度が高まっている。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		新たな観光ルートマップとして活用が期待できる。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		「森の京都」関連事業であり、府補助事業として実施することができた。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 作成したマップは好評であり、今後、増刷の可能性もあり、財源の確保を考えておく必要がある。				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x	○			x
	縮小	x		x		x
	休廃止		x	x		x
	皆減	縮小	維持	拡大		
	コスト投入の方向性					